

事業所名

縁ラシュレ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

27 日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。										
支援方針		・縁とつもくが安心して過ごせる場所になるように子どもの目線に立ち、信頼関係を築きながら活動・支援をします。 ・「できた！楽しい！」という達成感を大切にしながら、身辺自立を目指し、自分自身で出来ることが増えるように支援します。 ・視野を広げ、友達と関わる楽しさを味わうことができるような集団活動を目指します。										
営業時間		10	時	00	分から	16	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・到着後や外出後に水分補給や手洗いを促していきます。 ・排泄があった場合は、連絡帳に記入をして保護者様と共有し、体調を整えていきます。 ・食育を通して食べ物の好き嫌いを少しずつ和らげていけるように支援します。また、食育を通して食への興味・理解を促していきます。										
	運動・感覚	・始まりの会のダンスや公園あそびを通して、運動感覚を養います。 ・様々な活動を通して少しずつ出来ることが増えるようにサポートしていきます。 ・制作や微細運動を通して、手先の巧緻性を高めていきます。										
	認知・行動	・就学を見据えて、絵本やプリント練習などから文字や数字の習得を目指します。 ・活動の前には必ずルールや活動時間の説明をしてから活動します。絵カードやホワイトボードなどを用いて視覚化し、分かりやすく説明していきます。										
	言語 コミュニケーション	・絵本やお話の時間を通して楽しく言葉を学び、ひらがなやカタカナの理解を促していきます。 ・帰りの会で今日楽しかったことを伝える時間を作り、自分の言葉で話す・伝える練習をしていきます。 ・言葉の遅れが見られる場合には、サインや指差し、絵カードなどを用いて自分の思いの表現方法の獲得を目指し、言葉の発達にむけて支援していきます。										
	人間関係 社会性	・活動する前にルール説明を行い、順番やルールを守ってお友達とお互いに気持ちよく活動できるように支援していきます。 ・他事業所や地域の人と交流する活動を通して、社会性を育てていきます。 ・遊びや友達との関わりのなかで、気持ちのコントロールが出来るように支援していきます。										
家族支援		・保護者会の開催（懇談会、放デイ保護者様との交流、就学について等） ・定期面談および、ご要望によって随時面談の実施（お子様に関すること、兄弟に関すること等、様々な不安やお困りごとに寄り添います）							移行支援		・移行先（保育園、幼稚園等）との情報共有 ・就学先の決定までのサポート（スケジュールや書類等の補助）	
地域支援・地域連携		・関係機関との連携（福祉、医療、保健等） ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所（併用事業所）との情報連携							職員の質の向上		・朝ミーティング（前日振り返りと今日のリスクマネジメント等） ・定期的な職員会議 ・外部講師を招いた研修 ・緑グループ研修 ・川口エリア研修	
主な行事等		・季節の行事（夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー等） ・体験活動（遠足、さつまいも掘り、栗拾い、調理活動、外食レク、公共交通機関の活用、公共施設の利用等） ・避難訓練										